特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	28	OCT	2005
WIPO			PCT

出願人又は代理人 の書類記号 20819	今後の手続きについて	いては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/008060	国際出願日 (日.月.年) 03.	06.2004	優先日 (日.月.年) 04.(06. 2003			
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. B62D65/06							
出願人 (氏名又は名称) 本田技研工業株式会社							
1. この報告 甞は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条(PCT36 条)の規定に従い送付する。							
2. この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で	3 ページ	からなる。	}			
3. この報告には次の附属物件も添付される。	3. この報告には次の附属物件も添付されている。						
「補正されて、この報告の基 囲及び/又は図面の用紙(礎とされた及び/又は P C T規則 70.16 及び	この国際予備審査機 実施細則第 607 号参	関が認めた訂正を含む!! 照)	明細魯、請求の範			
□ 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙							
b. [電子媒体は全部で			(類、数を示す)。			
配列表に関する補充欄に示す (実施細則第802号参照)	配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。						
4. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。						
 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 第 II 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 IV欄 発明の単一性の欠如 第 V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI欄 ある種の引用文献 							
□ 第VII欄 国際出願の不 □ 第VII欄 国際出願に対		<i>:</i>		•			
L. Nytana Elythaux - 20							
国際予備審査の請求事を受理した日 04.04.2005		国際予備審査報告を	全作成した日 17.10.2005				
名称及びあて先		特許庁審査官(権限	艮のある職員)	3D 3322			
日本国特許庁(I PEA/JP)			三澤 哲也				
郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4番3号		電話番号 03-3	3581-1101 内	線 3341			

第I	第 I 梱 報告の基礎								
1. 首語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。									
	□ 出願時の言語による国際出願								
	出願時の言語から次の目的のための言語である 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文								
		国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))							
	ı	国際公開 (PCT規則12.4(a))							
	ı	国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))							
2.	2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)								
	V	出願時の国際出願書類							
	П	明細審							
		第 ページ、出願時に提出されたもの							
		ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの							
		第							
		請求の範囲 ・							
		第 項、出願時に提出されたもの							
		★ 第1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
		第 項*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 項*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの							
		第 付けで国際予幅審査機関が交達したもの							
		図面							
		第							
		第 ページ/図、 出願時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの							
		第							
l	[配列表又は関連するテーブル							
		配列表に関する補充欄を参照すること。							
3.		補正により、下記の審類が削除された。							
1		□ 明細書 第 ページ							
l		□ 請求の範囲 第 <u>項</u>							
		□ 図面 第 <u></u> ページ/図							
1		□ 配列表(具体的に記載すること)□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)							
ļ		1. 配列表に関連するアーノル(具体的に記収すること)							
4.		この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超							
		えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(6))							
1		明細書 第 ページ 間球の範囲 第 項 図面 第 ページ/図							
1									
ļ									
		□ 配列表 (具体的に記載すること)							
		配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)							
1									
 * 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。									
*	T 4. ICINE) D 40 II C T/IIIMIE Suportudus Ciar T-100 C C T F D								

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条 (PC T35 条(2)) に定める兄牌、 それを裏付ける文献及び説明						
1.	見解					
	新規性(N)	請求の範囲 1-4 請求の範囲	有 無			
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲 <u>1 - 4</u>	有 無			
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 <u>1-4</u> 請求の範囲	有 無			

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: JP 7-104127 B

(ラインメタル・マシーン・ビジョン・ゲー・エム・ベー・ハー) 1995.11.13 文献2:JP 2-55268 B (株式会社不二越) 1990.11.26

請求の範囲1及び2に係る発明は、国際調査報告に引用された文献1 (明細書全文,第1-16図)及び文献2 (明細書全文,第1-6図)とにより進歩性を有しない。

文献1には、左右方向に湾曲したウインドグラスを自動車の車体に精度良く取付けるための「自動車用ウインドグラスの取付方法」の発明が記載されている。

文献 2 には、自動車用ウインドグラスを精度良く取付けるために、ウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の 3 部分を照射する「自動車用ウインドグラスの取付方法」の発明が記載されている。

文献1に記載されたようにウインドグラス取付面及びその外側の2部分を照射する方法に代えて、文献2に記載されたようにウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の3部分を照射する方法を付加することで、請求の範囲1及び2に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到し得ることである。

請求の範囲3及び4に係る発明は、国際調査報告に引用された文献1及び文献2とにより進歩 性を有しない。

文献1には、左右方向に湾曲したウインドグラスを自動車の車体に精度良く取付けるための「自 動車用ウインドグラスの取付装置」の発明が記載されている。

文献 2 には、自動車用ウインドグラスを精度良く取付けるために、ウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の 3 部分を照射する「自動車用ウインドグラスの取付装置」の発明が記載されている。

文献1に記載されたようにウインドグラス取付面及びその外側の2部分を照射する取付装置に代えて、文献2に記載されたようにウインドグラスの左右端部、ウインドグラス取付面及びその外側の3部分を照射する取付装置を設けることで、請求の範囲3及び4に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到し得ることである。